中2 歴史 近世 穴うめ（20問）　版Fの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) （　　）の船隊が初めて世界一周をなしとげた	マゼラン
(2) 天下統一のころの豪華で力強い文化を（　　）という	桃山文化 （安土桃山文化 でも正解）
(3) 室町幕府をほろぼし、安土城を拠点にしたのは（　　）である	織田信長
(4) ルターらがカトリック教会を批判して始めた運動を（　　）という	宗教改革
(5) 徳川家の一族の大名を（　　）という	親藩
(6) 将軍がかわるごとなどに朝鮮から送られた使節を（　　）という	朝鮮通信使 （通信使 でも正解）
(7) キリスト教徒を見つけるため像を踏ませたことを（　　）という	絵踏 （踏絵・絵踏み でも正解）
(8) 1600年に徳川家康が石田三成らを破ったのが（　　）だ	関ヶ原の戦い （関ケ原の戦い でも正解）
(9) 東南アジア各地に日本人が移り住んでできた町を（　　）という	日本町 （日本人町 でも正解）
(10) 生類憐みの令を出した5代将軍は（　　）である	徳川綱吉
(11) 民衆の意見を聞くため評定所の前に置いた箱を（　　）という	目安箱
(12) 都市の人々が米を買い占めた商人の家をおそうのが（　　）だ	打ちこわし （打毀し でも正解）
(13) 19世紀半ばに天保の改革を行った老中は（　　）である	水野忠邦
(14) 働き手を作業場に集めて分業で製品をつくるのが（　　）だ	工場制手工業 （マニュファクチュア でも正解）
(15) 1825年に外国船を打ち払うよう命じたのが（　　）である	異国船打払令 （外国船打払令・無二念打払令 でも正解）
(16) 株仲間をすすめ、商業の力を利用した老中は（　　）である	田沼意次
(17) オランダ語を通じてヨーロッパの学問を学ぶことを（　　）という	蘭学
(18) 町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんを学んだのが（　　）だ	寺子屋
(19) 『東海道五十三次』をえがいた浮世絵師は（　　）である	歌川広重
(20) 『古事記伝』を書いて国学を大成したのは（　　）である	本居宣長